

次こそ優勝!!

すずき
鈴木 来菜 さん
スキー全国大会 準優勝



今月の表紙

只見スキースポーツ少年団の鈴木来菜さんは、2月に山形県で開催されたスキー東北大会U-10女子大回転で優勝し、3月7日に新潟県の苗場スキー場で開催された全国大会に出場しU-10女子コンビネーションで準優勝しました。優勝者とのタイム差は0.37秒!来菜さんの来年のレースが楽しみです!!(写真は3月24日春休みになり只見スキー場で練習している来菜さんに優勝、準優勝の盾を持って撮らせてもらった写真です。)

平成27年度 只見町予算…………… 2~3
 特集 卒園・卒業…………… 4~5
 雪まつりフォトコンテスト
 ミニ雪像コンテスト結果発表…… 6~7
 「手を振ろう条例」制定 他 …… 8~9
 町の話 …… 10~11

登録を契機とした只見町の創生

◆平成27年度只見町予算

平成27年度予算は、ユネスコエコパークの登録認定を契機とした只見町の創生を目指し、地域課題解決に向けた事業を展開していきます。

一般会計の予算規模は68億3,000万円となり、前年度対比18億2,000万円の増、36.3%の増となります。また、12の特別会計の合計額は29億6,940万円となっており、一般会計と合わせた平成27年度予算総額は97億9,940万円です。

◆一般会計 歳入

歳入は、「依存財源」(国や県から入るお金)が52.8%を占め、その中でも地方交付税の割合が最も高く、歳入全体の30.5%を占めています。

また、「自主財源」(町が独自に確保できるお金)では、繰入金が増入全体の32.0%で、前年度に比べて15億4,721万円の増額となっています。これは各種事業実施に充てるため基金を増入増額したことによるものです。町税は歳入全体の13.1%で、前年度に比べて2,274万円の減額となっています。

◆一般会計 歳出

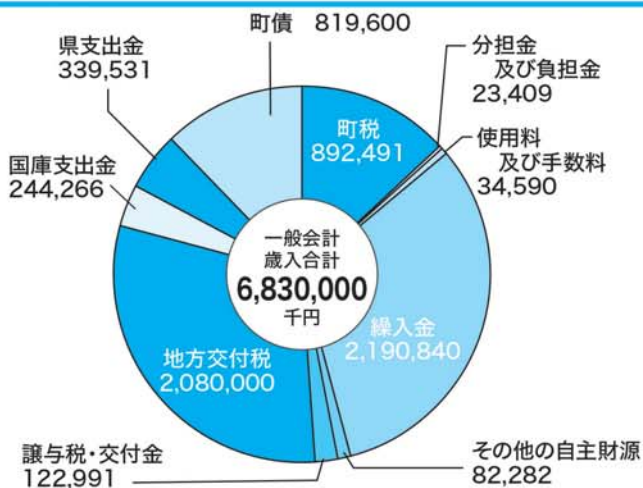
歳出は、総務費の占める割合が最も高く33.7%となっています。これは、役場庁舎新築工事及び社会保障・税番号制度(マイナンバー)システムの整備、ユネスコエコパークの推進事業等の実施によるもので、昨年比168.4%の増となっています。

次に、民生費の占める割合が10.5%となっています。主に後期高齢者医療、介護保険、児童福祉などの安定した社会生活を保障するための経費です。

土木費の増は、道路除雪のタイヤドリーザ、ロータリー車の購入、亀岡集会施設の建設工事、公営住宅九々生団地の改修工事等の実施が主な要因です。

農林水産業費では、農業用施設の施設改修、防災対策工事を実施します。衛生費は、熊鷹水道施設の機能強化にかかる簡易水道特別会計への繰入金により全体で増となっています。教育費では、町下広場夜間照明のLED化工事を実施します。

3,000万円



■町税の内訳

| | |
|-------|-----------|
| 町民税 | 1億5,183万円 |
| 固定資産税 | 7億145万9千円 |
| 軽自動車税 | 1,071万8千円 |
| 町たばこ税 | 2,482万8千円 |
| 入湯税 | 365万6千円 |

| | |
|----------------------------|------------|
| 町民一人あたりにすると(3月1日現在人口)..... | 4,656人 |
| ■一般会計支出額(使われるお金の額)..... | 1,466,924円 |
| ■町税負担額(納めていただくお金の額)..... | 191,686円 |

■歳入

(単位:千円)

| 項目 | 27年度 | 構成比 | 26年度 | 増減率 |
|-------------|------------------|---------------|------------------|--------------|
| 町税 | 892,491 | 13.1% | 915,237 | -2.5% |
| 地方譲与税 | 53,000 | 0.8% | 61,000 | -13.1% |
| 利子割交付金 | 740 | 0.0% | 750 | -1.3% |
| 配当割交付金 | 400 | 0.0% | 390 | 2.6% |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 1 | 0.0% | 1 | 0.0% |
| 地方消費税交付金 | 57,000 | 0.8% | 53,000 | 7.5% |
| 自動車取得税交付金 | 10,600 | 0.2% | 8,300 | 27.7% |
| 地方特例交付金 | 410 | 0.0% | 630 | -34.9% |
| 地方交付税 | 2,080,000 | 30.5% | 2,080,000 | 0.0% |
| 交通安全対策特別交付金 | 840 | 0.0% | 1,000 | -16.0% |
| 分担金及び負担金 | 23,409 | 0.3% | 19,802 | 18.2% |
| 使用料及び手数料 | 34,590 | 0.5% | 30,363 | 13.9% |
| 国庫支出金 | 244,266 | 3.6% | 197,401 | 23.7% |
| 県支出金 | 339,531 | 5.0% | 290,305 | 17.0% |
| 財産収入 | 22,075 | 0.3% | 22,638 | -2.5% |
| 寄付金 | 4,001 | 0.1% | 3,002 | 33.3% |
| 繰入金 | 2,190,840 | 32.0% | 643,630 | 240.4% |
| 繰越金 | 1 | 0.0% | 1 | 0.0% |
| 諸収入 | 56,205 | 0.8% | 73,950 | -24.0% |
| 町債 | 819,600 | 12.0% | 608,600 | 34.7% |
| 歳入合計 | 6,830,000 | 100.0% | 5,010,000 | 36.3% |

■歳出

(単位:千円)

| 項目 | 27年度 | 構成比 | 26年度 | 増減率 |
|-------------|------------------|---------------|------------------|--------------|
| 議会費 | 85,331 | 1.2% | 77,427 | 10.2% |
| 総務費 | 2,308,917 | 33.7% | 860,388 | 168.4% |
| 民生費 | 717,085 | 10.5% | 768,864 | -6.7% |
| 衛生費 | 565,342 | 8.3% | 473,949 | 19.3% |
| 労働費 | 13 | 0.0% | 13 | 0.0% |
| 農林水産業費 | 672,800 | 9.9% | 565,253 | 19.0% |
| 商工費 | 409,264 | 6.0% | 390,782 | 4.7% |
| 土木費 | 677,506 | 9.9% | 416,961 | 62.5% |
| 消防費 | 304,380 | 4.5% | 321,756 | -5.4% |
| 教育費 | 520,887 | 7.6% | 480,192 | 8.5% |
| 災害復旧費 | 105,943 | 1.6% | 149,319 | -29.0% |
| 公債費 | 427,199 | 6.3% | 420,017 | 1.7% |
| 予備費 | 35,333 | 0.5% | 85,079 | -58.5% |
| 歳出合計 | 6,830,000 | 100.0% | 5,010,000 | 36.3% |

平成27年度の主な事業

新規…◎、拡充…○、26年度補正…☆、継続…印なし

■住民と行政が協働するまちづくり

- 集落・地区センターなど住民交流を主体とした地域づくり
 - 4,960万円 ◎亀岡集会施設建設事業
 - 590万円 集落運営支援交付金事業
 - 1,700万円 自然首都只見地域づくり交付金
- 情報通信基盤の整備
 - 5,475万円 ○社会保障・税番号制度システム整備事業
- 効率的な行財政運営
 - 142,830万円 ◎役場庁舎建設事業
- 総合的な土地利用・交通体系の確立
 - 1,200万円 JR只見線全線再開通事業

■自然に感謝するまちづくり

- 自然保護意識の醸成
 - 1,915万円 ユネスコエコパーク推進事業
- 雪と共存するまちづくり
 - 12,430万円 ○除雪機械更新事業
 - 1,750万円 高齢者等除雪支援事業
 - 2,000万円 大雪対策事業補助金
- 水環境の保全と上下水道の整備
 - 18,587万円 ◎只見統合簡易水道機能強化事業
- 自然と調和した地域イメージに合った景観づくり
 - 5,000万円 ◎町営住宅長寿命化事業
 - 2,133万円 ◎空き家再生等推進事業・空き家対策補助事業

■保健・医療・福祉が一体となった元気なまちづくり

- 安定した保健・医療・福祉サービス体制の確立
 - 2,765万円 ○朝日診療所医療機器整備事業
- 安心して子どもを産み育てられるまちづくり
 - 578万円 ○妊婦健診助成事業
 - 148万円 ☆子ども一時預かりサービス事業
 - 400万円 子宝祝い金事業
 - 1,400万円 18歳以下医療費無料化事業

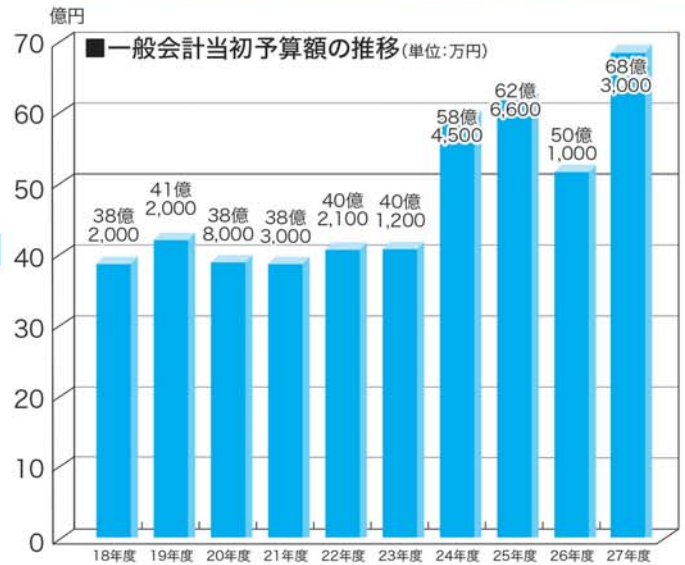
■新たな産業と循環型社会を構築するまちづくり

- 誇りが持てる農業の振興
 - 571万円 ○担い手育成事業
 - 7,979万円 ○農業基盤整備促進事業
 - 2,500万円 ◎農業用施設防災対策事業
- 豊かな森林を活かした林業の振興
 - 109万円 ◎狩猟免許等取得補助事業
 - 1,880万円 ◎木材集積加工施設整備事業
- 活力ある商工業の振興
 - 1,700万円 ☆プレミアム商品券発行事業
 - 280万円 ○中心市街地活性化事業
- 特色を活かした魅力ある観光の振興
 - 3,320万円 ◎只見沢無料休憩所改築事業
 - 4,064万円 ◎田子倉レイクビュー改修事業
 - 2,500万円 ☆宿泊・飲食事業持続化創業支援事業
- 産業間連携と産業おこしの推進
 - 300万円 ◎地元産材活用支援事業
 - 800万円 ○産業振興対策事業補助金

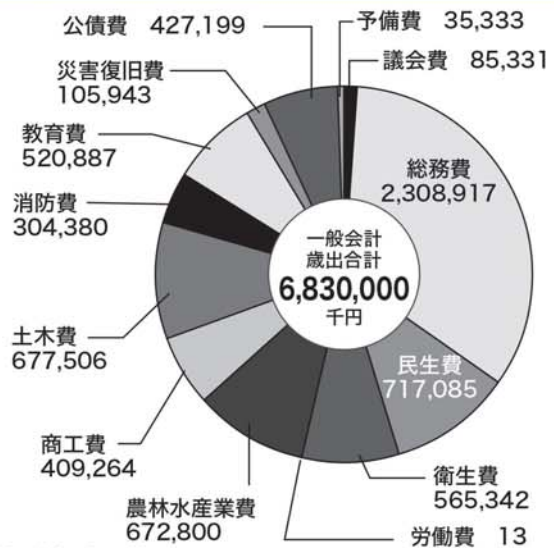
■教育、文化を大切にするまちづくり

- 家庭教育力の向上
 - 187万円 子ども読書活動推進事業
- 広い視野を持ち地域を理解する町づくり
 - 141万円 地域人材育成事業
- 次世代を担う子どもたちの教育の充実
 - 600万円 学校給食支援事業
 - 440万円 未来の自分設計奨励金交付事業
- 生涯スポーツ・レクリエーションの充実
 - 2,227万円 ○体育施設照明LED化事業

ユネスコエコパーク



一般会計 予算総額 68億



■特別会計予算

(単位: 千円)

| 会計区分 | 27年度 | 26年度 | 増減率 |
|----------------|-----------|-----------|--------|
| 国民健康保険事業特別会計 | 565,000 | 504,000 | 12.1% |
| 国民健康保険施設特別会計 | 479,000 | 438,000 | 9.4% |
| 後期高齢者医療特別会計 | 136,000 | 134,000 | 1.5% |
| 介護保険事業特別会計 | 665,000 | 624,000 | 6.6% |
| 介護老人保健施設特別会計 | 250,000 | 252,000 | -0.8% |
| 訪問看護ステーション特別会計 | 17,000 | 17,000 | 0.0% |
| 地域包括支援センター特別会計 | 10,100 | 10,000 | 1.0% |
| 簡易水道特別会計 | 406,000 | 199,000 | 104.0% |
| 観光施設事業特別会計 | 43,000 | 52,000 | -17.3% |
| 交流施設特別会計 | 67,000 | 76,000 | -11.8% |
| 集落排水事業特別会計 | 320,000 | 312,000 | 2.6% |
| 朝日財産区特別会計 | 11,300 | 11,600 | -2.6% |
| 合計 | 2,969,400 | 2,629,600 | 12.9% |



- 1 お別れの言葉では、保育所で楽しかった思い出をみんなに話してくれました。
- 2 保護者や来賓の皆さんの拍手で会場を後にしました。
- 3 保育所長からしっかりと保育証書を受け取りました。



町内の保育所・小学校・中学校では卒園式や卒業式が行われ、山村留学生は奥会津学習センターで送別式が行われました。子どもたちは通い慣れた学びや寮を後にしこれから新たな一歩を踏み出します。ここでは式の様子を写真で紹介します。

特集 卒園・卒業



- 1 卒業証書授与後、両親へ6年間の感謝と共に花を手渡す卒業生。
- 2 在校生から卒業生一人ひとりに感謝の言葉が述べられました。
- 3 卒業証書を手に体育館を後にする卒業生たち。



只見中学校

第8回卒業証書授与



- 1 藤田校長から36名の卒業生へ卒業証書が手渡されました。
- 2 強い絆で結ばれ充実した学校生活を送る事ができたと答辞で話してくれた飯塚健太郎君。
- 3 在校生へ別れの歌をうたう卒業生。
- 4 保護者から祝福され会場を後にするようす。



- 1 送別式では、留学生から卒業後の進路や思い出などが話され、その後齋藤教育長から、地域間交流や寮内の取りまとめを主体的に行ってくれた生徒へ感謝状が贈呈されました。
- 2 山村留学生11期生7名が学習センターで撮影した最後の集合写真。その表情からこの寮で3年間を楽しく過ごせたことがうかがえます。
- 3 送別会のあとに3年生を送る会として1,2年の寮生が食堂を飾りつけ、みんなで食事や歓談をして3年生の卒業を祝いました。

山村教育留学生



只見町長賞

「大雪像に咲く祈願の華」

井上 真也さん(埼玉県)



第43回
只見ふるさとの雪まつり
フォトコンテスト
入賞作品決定!!

〈入選〉

千葉 紀代子さん(郡山市)

千葉 勇雄さん(郡山市)

寺澤 達夫さん(新潟県)

高橋 順一さん(いわき市)

角田 長政さん(只見町)

応募総数74点

たくさんのご応募
ありがとうございました!

ティーマアイ工業(株)社長賞 「厄払い」



小田島 守明さん(郡山市)

審査員特別賞 「厄払い」



小澤 貴喜さん(郡山市)



優秀賞
「漢」

菅家 忠さん(只見町)



優秀賞
「東京駅を彩る」

中根 英治さん(埼玉県)

最優秀賞



No.42 つながれつながれ只見線

朝日保育所

第43回
只見ふるさとの雪まつり

ミニ雪像
コンテスト
審査結果
発表!!

グッドデザイン賞



No.10 ブナりん

厄男

優秀賞



No.3 ドラえもん・
ムーミン・ブナりん

館ノ川活性化委員会

グッドキャラクター賞



No.43 コマさん

明和保育所

グッドテクニック賞



No.14 機関車トーマス

只見町商工会

グッドアイデア賞



No.18 浮世絵

只見高等学校

グッドキャラクター賞



No.41 オラフ

只見保育所

只見線にみんなで手をふるろう！

「手をふるろう条例」制定

只見町議会3月会議で「只見町只見線にみんなで手をふるろう条例」が可決されました。この条例は、広く親しまれているJR只見線の列車に手をふり、乗客へおもてなしの気持ちを示すとともに、只見線への愛着をさらに深め、力強く走る只見線を応援することを目的とした条例です。

これからの通勤途中、散歩中、農作業中もし近くを只見線の列車が走っていたら、列車に向かってぜひ手をふってください。



▲恥ずかしがらずに大きく手を振りましょう!

次の世代に歴史と文化を伝える

「会津只見史談会」が発足!!

只見町の歴史、民俗などの調査研究を通じて、地域文化の向上と、次の世代に郷土の歴史・文化を伝えることを目的とする「会津只見史談会」が発足し、2月24日に朝日振興センターで設立総会が行われました。

会員は町にゆかりがあり、会的目的に賛同する方で構成され現在21名。今後は郷土資料の調査・研究や講演会の開催、歴史や民俗文化を語り継ぐ活動などに取り組んでいきます。



▲初代会長に飯塚恒夫さんが選ばれました

只見町消防団 三瓶一也さん

永年勤続功労章を受章

只見町消防団で副団長を務める三瓶一也さんが平成26年度の消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章しました。

三瓶さんは、昭和59年4月1日に只見町消防団に入団以降30年間勤務され、平成22年4月からは副団長として団長の補佐や消防団の組織運営、消防設備の充実、婦人消防隊や町民の皆さんと連携強化を図るなど本町の消防団活動に大きく貢献された功績が認められ、今回の表彰となりました。



▲3月20日南会津地方広域行政センターで伝達式が行われました

細かく刻まず検査ができます

非破壊式放射能検査器設置

朝日振興センターに非破壊式放射能測定器を設置しました。これは検査する食品などを細かく切り刻まなくても放射能検査を行うことができ、測定器となっています。

検査料は無料で、予約の必要はありませんが利用時間は平日の午前8時30分〜午後5時15分までとなります。

詳しくは、農林振興課（☎82-5230）までお問い合わせください。



▲野菜などをこの機械の中に入れて測定できます

農業委員会 町などに
農業施策に関する建議書を提出

3月30日、只見町農業委員会（渡部且明会長）は町と議会それぞれに只見町農業施策に関する建議書、請願書を提出しました。

この建議書、請願書には、土地利用型農業の経営安定化のための支援強化として、規模・形態にとられない稲作農家支援、水田農業・ソバ生産体制の確立、優良農地の維持・向上に係る支援などを推進するよう農業委員会の意見がまとめられています。

雪を活用した新たな試み
野菜や加工品を雪むろ貯蔵

日本屈指の豪雪地帯である只見町の雪を活用しようとして只見町雪むろ実行委員会は3月23日、雪まつり大雪像跡地に簡易型の雪むろを設置し、只見のお酒「岩泉」やどぶろく、米や味噌、野菜やたぐり飴などを貯蔵しました。

今回貯蔵した加工品や野菜などは、只見駅前広場で6月20〜21日に行われる開封イベント「ようこそ只見線！只見雪むろまつり」で開封されます。

ストラディヴァリウスによる演奏
明和小で貴重な音楽体験

3月10日、子どもの夢基金助成事業で、世界的なバイオリニスト、ルツ・レスコヴィッツさんが明和小学校を訪れました。

児童たちはルツさんにバイオリンの弾き方などを教えてもらいその後、ルツさんは地域の皆さんも集まった会場で、モーツァルトの「春」など名曲の数々を世界の名器である「ストラディヴァリウス」で演奏され、会場の皆さんはその音色の素晴らしさに惜しめない拍手を送りました。

講演会を開催
「ホタルの生息地の保全と再生」

3月14日、中井町生物多様性調査会会長の梶真史氏を講師に招き、講演会を開催しました。講演では、約60種いる日本のホタルのうち、幼虫時代を水の中で過ごす種はわずか3種類であることなど今まで知らなかったホタルの生態を知る貴重な機会となり、ホタルの保全のためには他の生物や環境全体の保全が必要で、事前にどんな環境にどんな昆虫が生息しているのか基礎調査をすることが重要であるということも学びました。

渡部会長から齋藤議長へ請願書の提出



渡部会長から目黒町長へ建議書の提出



▲3か月後どうなっているか楽しみです



▲ルツさんにバイオリンを教えてもらう児童



▲ホタルについて理解を深めた講演会



▲写真は鑄造のようすで、会津工場では世界にも誇れる製品づくりをしています！

3月27日、只見町二軒在家にある会津工場が「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定されました。これは中小企業庁が革新的な製品開発、創造的なサービスの提供などを通じて、地域経済の活性化や海外での積極的な販路展開などに取り組む中小企業や小規模事業者を選定したたえるものです。

会津工場は、世界で唯一独自の^{ちゅうぞう}鑄造技術「Hプロセス工法」を導入して、精密鑄造技術による量産体制を確立し、製品は高精度・低コストで徹底した品質管理を行っていることが今回評価されました。鑄造とは鉄などの材料を熱して溶かし液体にしたあと、型に流し込んで目的の形に固める



▲新工場を近く本格稼働させ、今後はさらに受注を増やす予定です。これからはさらに多くの車に会津工場の製品が使われる事でしょう!!

株式会社 会津工場
**全国385万社の中から
 「がんばる中小企業・
 小規模事業者300社」
 に選定!!**



▲記念の賞状と盾を持つ鈴木 直記 代表取締役。会社では新たな製品を開発するため専門的な知識がある人を求めているとのことでした。

加工方法で、会津工場の製品は他社で鑄造後に必要となる削りや溶接などの加工作業の必要がない製品となっており、費用や加工時間を減らす事ができるので多くの自動車部品メーカーから支持されています。



▲どちらも同じ製品ですが、右が他社製品で、左が会津工場の製品です。会津工場の製品は必要な穴あけ加工などが鑄造段階で行われている事が分かります。

ブナセンター講座

「森を作る鳥たち—鳥と果実の共進化—」

企画展「季節とともに生きる只見の野鳥とその生態」の開催に合わせ、3月7日にブナセンター講座を開催しました。講師に上田恵介氏(立教大学理学部生命理学科教授)を招き、鳥と果実の関係がどのような進化につながっていったのか、そして“森を作る”とは一体どういう事なのかを話していただきました。

まず「共進化」について話していただき、これはどちらか一方の行動だけでは起こらず、相互作用によって起きていくのだそうで、鳥が“果実を食べる”という行動を起こすことにより、結果として種子を散布したい植物はより優先的に種子を運んでもらうため様々な工夫を凝らします。植物は動けないので、子孫を残すため種子を遠くへ散布しなければならないからです。散布の方法には、風や水流など自然の力に頼る方法のほか動物に種子を運んでもらう方法もあります。

例えば、センダングサやオモナミなどは体にくっつく付着型、リスやノズミ、カケスやホシガラスなどに見



▲参加者は上田先生の話に興味深く聞かれていました

られる貯食型などがあり、もっとも多いのは周食型と呼ばれる果実を食べた結果、食べ残しや排泄物に種子が混ざり散布される方法です。

鳥が食べる果実は様々な種類がありますが、その中で鳥に優先的に果実を食べさせて種子を運んでもらうために、色や形・可食部の成分などを進化させていく上で、鳥やその他の種子を運ぶ生き物も、植物だけが得をし、自分たちが損をしないように進化してきたことを今回の講座の中で知る事ができ、そうした鳥と植物の関係によって、様々な植物の種子が運ばれ生育し、新しい森を作っていくことを学びました。

「上田先生と歩く!冬のブナ林」

翌日の3月8日には、ただみ観察の森・楢戸の二次林、只見ダム周辺で自然観察会を開催しました。講師は前日に引き続き鳥類の生態が専門の立教大学の先生です。

まず、楢戸の観察の森へ向かいました。森へ入るには雪の壁を乗り越えていかななくてはならず、数日前下見した際につけて置いた階段を登り、そこからスノーシューを履いて歩き始めました。残念ながら、ここでは鳥を見ることができなかったのですが、動物の足跡や糞、幹に残っている熊の爪痕、ブナの膨らんできた冬芽などの観察や、雨水がブナの幹を流れる樹幹流を見るなど、冬の森を満喫しました。



▲ブナの前で記念撮影

そして、場所を移して只見ダムでは、オオバン、カルガモ、カンムリカイツブリ、カワアイサ、キンクロハジロ、スズガモ、マガモなどの水鳥を観察することができ、上田先生に冬季の鳥の行動について説明していただきました。

偶然にも山の斜面に佇むカモシカに遭遇し、しばしのお見合いとなりました。カモシカは暫くは微動だにせずこちらを見ていたので、良い写真が撮れたのではないのでしょうか。

参加者からは、スノーシューで雪上を歩くのが楽しかった、冬のブナ林が美しかった、水鳥を観察できて良かったなどの声が聞かれ、楽しんで頂けたようでした。



▲只見ダムで水鳥観察

朝日診療所に医師2名が着任！ 4月から常勤医師4人体制に!!



やまうち けんしろう
山内 健士郎 医師
○専門 総合診療・家庭医
を目指しています

町民の皆さんの健康を守るため、只見町のために精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。



もり ふゆと
森 冬人 医師
○専門 家庭医

実習でも只見町にお世話になり良い経験ができたので、恩返しできるよう頑張ります。

若山所長、榎田医師に今年度から森医師と山内医師が加わり4月から朝日診療所の常勤医師が4人体制となりました。

また、朝日診療所では4月7日から胃カメラ検査を再開しておりますので、胃カメラ検査を希望される方は朝日診療所(☎84-2221)までお問い合わせください。

会津中央病院から看護師を受け入れます!

診療体制の強化や、看護師の医療技術交流によるスキルアップなどを目的に、4月から会津中央病院の看護師を朝日診療所で受け入れます。看護師の研修期間は4カ月以内で4月～6月まで黒田睦美さん、4月～7月まで三瓶珠理さんに朝日診療所で勤務していただきます。皆さんよろしくお願ひします。



▲現在診療所で研修中の黒田さん(左)と三瓶さん(右)

地域おこし協力隊として vol.10 只見町教育振興協力隊 末谷 広大

『奥会津学習センター満室!!』

平成27年度になり、新しい山村教育留学生16人が只見高校に入学しました。現在、下宿で生活をする生徒は5人、寮で生活する生徒は40人おり、奥会津学習センターの部屋は満室。おおよそ只見高校の1/3、1学年分の生徒が寮でこれから生活する現状に驚いています。また、関東からの入学者はこれまで何名もいましたが、今年は関西からの入学者もあり、「只見」という名前が全国に認知さ

れる日も遠いものではないと感じています。これからも、そしてこれまで以上に地元の子も達と、地元外から来た子ども達との交流が増え、お互いに刺激し合っって切磋琢磨した高校時代を過ごしてほしいと思います。そして卒業後、「只見町の人たちに出会えてよかった。」という気持ちで卒業してほしいですね。

只見野鳥雑記 ⑥ (最終回)

先人の見識を

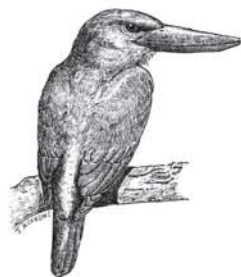
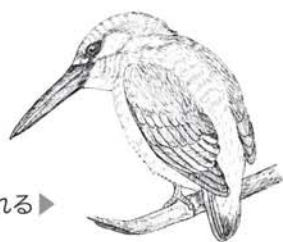
つたえる方言

地域の伝統を引きつぐことにもなると思います。その意味もこめて、いまでは使われなくなった只見町の鳥類方言をご紹介します。



▲チューマ、ゲージードリとよばれるムクドリ

ソナとよばれるカワセミ



コマドリ、ナンパンチョウとよばれるアカショウビン

学名という、動植物の正式な日本名と違って使う人がいます。たとえば「この鳥の学名は、ツバメです」と言うことがあります。正しい使い方はありません。学名とは国際命名規約によってつけられた世界共通の名称で、ラテン語で表記されます。日本国内で通用する名称は標準和名といます。それ以外の名前は別名、ある地域だけに通用する名前を方言名といえます。ツバメを例にすれば、学名は *Hirundo rustica*、標準和名はツバメ、只見町の方言名はツバクロとなります。情報を正確に伝えるために、万国共通の学名をつけることはたいせつなことです。一方、急速な国際化がすすんで地域固有の方言名は消えつつあります。このままでは独自の文化や価値観もなくなってしまうそうです。方言を残すことは、自分が生まれ育った

鳴き声からつけられたものでは、チューマまたはゲージードリという鳥がいます。ムクドリのことで、どちらもさわがしい鳴き声を表現したものです。チューマは只見川沿いの集落で、ゲージードリは伊南川沿いの集落でよばれます。全身が赤いアカショウビンは、コマドリとかナンパンチョウといいました。コマドリは和名でいうとツグミ科のコマドリのことですが、只見地方ではアカショウビンの鳴き声を駒(馬)のいななきに聞きなしたのです。この鳥が鳴くと、雨が降るといわれています。ナンパンチョウは、赤い身体を唐辛子の南蛮に見立てたか、あるいは外国から来た鳥ということの名付けたものでしょう。なお、ナンパンチョウという名前は、明和地区で使われます。また、トチハカリという鳥がいます。春、山中の林からカラカラカラ…という乾いた音が響きます。これが栃の実を升にあげる音に似ているので「栃秤り」

とよんだのです。じつはこれは鳴き声ではなく、キツツキ類が樹幹をついて、なわばり宣言のために出している音です。さらにサケビという正体不明の生き物がいます。初夏の夜、キヤーキヤーと鋭い声で鳴きます。この鳴き声の主はフクロウのヒナです。暗い森で自分のいる場所を親鳥に教えてエサをもらうために鳴きます。この声があると、「サケビが来つからはやく寝ろ」などといつて子どもを寝かしつけました。よく知られているカッコウは、カッポドリとよんでいました。いまでは見られなくなったヒクイナはカネツキドリといい、この鳥が田んぼに巣をつくと豊作になるといわれています。

色や姿から名づけられたものに、ヒアカシという鳥がいます。キビタキの雄の方言名で、おそろく喉の赤い色を「火明かし」と表現したのと思われる。また、モンツキ

ガラスという鳥は、ブツポウソウのことです。翼に白い紋のあるガラスに似た鳥が林内を飛ぶのを評したものです。フウジロという鳥は、フウ(頬)が白いシジュウカラやヒガラを総称した方言名です。

古い名前(古名)がそのまま方言として残っているものもあります。シトドとはホオジロのことで辞典にも古名として載っています。同じ仲間のアオジはアオシトドとよんでいました。ソナという方言も古い名前です。カワセミのことです。ちなみにヤマセミはカーゲラとよんでいます。語源は不明ですが、カワラヒワのことをニクバシ、カイツブリはタカブといっていました。

これらの方言名は、『会津只見の方言』(只見町史資料集第5集)にくわしく掲載されています。方言名がわかると、先人の見識がわかり、いつそう愛着が深まります。



▲トチハカリとよばれるアオゲラ



町民文芸

只見短歌会 二月詠草

大塚栄一 指導

友葬り待つ人もなき家に入れば朝餉の白ひかすかに残る

馬場 八智

北西の風の運べる雪の嵩隣家も見えぬ高さとなりぬ

小倉キミ子

合格を知らせに孫が来るといふに三月初めの吹雪が続く

古川 英子

色紙書く母の齢の高ければ仕事終へし夜遅く見習ふ

新国由紀子

雪まつり復興願ふ只見線東京駅の雪像に観る

関谷登美子

雪国の定めか今年も落雪の犠牲者二人絶ゆる事なし

渡部ゆき子

級友ら逝きし娘に雪まつりの尺玉花火を二個揚げくれぬ

五十嵐夏美

予想つかぬ積雪早く日常の乱れに人等の絆深まる

目黒 富子

亡き母の命日近づき大吹雪の葬儀の様が脳裏離れず

渡部ヨリ子

杖なくば歩けぬわれの入浴に店員ら時折り声かけくるる

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会 三月例会

目黒十一 指導

ぐだぐだとすることもなく風邪つびき
節分や子らの声なし鬼もなし

信

触るるたび笑ひを含むつるし雛
紅梅や十間蔵の^{じまけんくら}大身槍^{おおみややり}

順子

千年の松が枝に降る雪無限
隅ずみに節分の豆転がりて

リウコ

立春や風呂に入りて一呼吸
樹氷林朝日に向かい凜と立つ

修一

雪晴れや小さきクツの飛び跳ねて
大雪や^こ漕ぎ出^たて計る雪の丈^{たけ}

都

立春や女性も含む鑑評会
風花や登校郡の急ぎ足

一穂

ときめきを赤々と焚きシクラメン
石仏の微笑たたう深き雪

洋子

雪下し総出の留守に鳴る電話
登る屋根懐中湯婆胃^{ゆたんぼ}に当てて

吉児

雪壁のつなぐ七戸や村の布令^{ふれい}

恒夫

雛段の三人官女微笑みて
待ちに待つ退去の日取り柳萌ゆ

邦男

天井に水影ゆらぐ春日和
佳き日かなねんごろにして内裏様

礼

今月のお知らせ

電話番号

| | | | |
|------------|-------|-----|-----------|
| 総合政策課 | 地域振興係 | 財政係 | ☎ 82-5220 |
| 総務課 | 総務係 | | ☎ 82-5210 |
| 職員課 | 職員係 | | ☎ 82-5050 |
| 町民生活課 | 税務係 | | ☎ 82-5110 |
| 税務課 | 町民係 | | ☎ 82-5100 |
| 保健福祉課 | 保健係 | | ☎ 84-7005 |
| 保健課 | 福祉係 | | ☎ 84-7010 |
| 農林振興課 | 農政係 | 林政係 | ☎ 82-5230 |
| 観光商工課 | 観光係 | 商工係 | ☎ 82-5240 |
| 環境整備課 | 地域整備係 | | ☎ 82-5270 |
| 生活環境係 | | | ☎ 82-5280 |
| 会計室 | | | ☎ 82-5120 |
| 議会事務局 | | | ☎ 82-5300 |
| 農業委員会 | | | ☎ 82-5230 |
| 教育委員会 | | | ☎ 82-5320 |
| 学校給食センター | | | ☎ 84-7180 |
| 只見保育所 | | | ☎ 82-2219 |
| 朝日保育所 | | | ☎ 84-2038 |
| 明和保育所 | | | ☎ 86-2249 |
| 朝日診療所 | | | ☎ 84-2221 |
| (歯科) | | | ☎ 84-2612 |
| 訪問看護ステーション | | | ☎ 84-2130 |
| こぶし苑 | | | ☎ 84-2101 |
| 只見振興センター | | | ☎ 82-2141 |
| 朝日振興センター | | | ☎ 84-2111 |
| 明和振興センター | | | ☎ 86-2111 |

税 今月の納期

4月27日までに
納めましょう

- 固定資産税(1期)
- 農集排使用料(4月分)

● 申込受付期間

4月13日(月)～6月12日(金)までで執務時間に限りません。郵便による申込用紙提出は、6月10日(水)までの消印のあるもの限り受け付けます。

● 問い合わせ先

この試験に関し不明な点は、社会福祉法人南会津会本部事務局に問い合わせください。

▽社会福祉法人南会津会本部事務局
(特別養護老人ホーム田島ホーム内)
南会津町永田字風下3番地1
☎ 0241-63-1118

申込用紙は次の施設で交付します

▽社会福祉法人南会津会本部事務局
只見町大字長浜字久保田1
☎ 0241-84-7550
▽只見町介護老人保健施設こぶし苑
只見町大字長浜字唱平31
☎ 0241-84-2101

試験

社会福祉法人南会津会 職員採用候補者試験

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などを運営する社会福祉法人南会津会では、只見町地域密着型介護老人福祉施設開所に伴い職員採用候補者試験を次により行います。

● 採用予定職種・採用予定人員

- ① 生活相談員 1名
- ② 看護職員 2名
- ③ 介護職員 8名

● 採用予定年月日

平成27年12月1日

※採用前に研修期間を設ける場合があります。研修期間中は本会規程による賃金支弁職員として雇用します。

● 職務内容

① 生活相談員 ② 特別養護老人

ホームなどで利用者の生活全般の相談などの業務に従事します。

② 看護職員 ③ 特別養護老人ホームなどで利用者及び職員などの診療の補助、看護、健康管理、保健衛生などの業務に従事します。

※特別養護老人ホームおよび介護老人保健施設での勤務は交代勤務となり夜勤があります。

③ 介護職員 ④ 特別養護老人ホームなどで利用者の食事・入浴・排せつ介護などの業務に従事します。

※特別養護老人ホームおよび介護老人保健施設での勤務は交代勤務となり夜勤があります。

● 受験資格

年齢・学歴は問いませんが、次の項目に該当することを必要とします。

① 普通自動車一種免許取得者ま

たは、平成27年10月31日まで取得見込みの者。

② 平成27年12月1日現在60歳未満の者。

③ 次の資格を有する者
・生活相談員は、社会福祉士および社会福祉主事の資格取得者。

・看護職員は、保健師助産師看護師法に定める看護師免許または准看護師免許の取得者。
・介護職員は、特に資格要件はありません。

※次のいずれかに該当する者は受験できません。

- ・日本の国籍を有しない者
- ・禁固以上の刑に処せられた者

● 試験の方法・日時・場所

▽第1次試験
一般教養試験(高等学校卒業程度)
日時 6月28日(日)
場所 南会津町田島あだこ館
(旧田島町中央公民館)

▽第2次試験

(1次試験合格者のみ)
作文試験・面接試験
日時 7月26日(日)
場所 南会津町田島あだこ館

● 試験結果の発表

第1次試験の結果については、7月上旬に本人に通知します。

● 受験申込手続について

所定の申込み用紙に必要事項を記入し、最近6ヶ月以内に撮影した本人の写真を貼り、受験資格を確認するため、受験申込用紙に資格を証する免許証などの写しを添付して、社会福祉法人南会津会本部事務局(特別養護老人ホーム田島ホーム内)に提出してください。

※申込用紙は、南会津会の本部事務局または各施設で交付します。(郵送による請求もできます。詳しくはお問い合わせください。)

町長の手帳

町長スケジュール〈3月分〉

- 1日 TADAMIスノーフェスティバル開会式、只見高等学校卒業式
- 2日 議案検討庁議
- 3日 湯ら里取締役会、南会津防犯連絡協議会委嘱状交付式（南会津町）
- 4日 雪まつり実行委員会
- 5日 一般質問検討庁議
- 6日 TNI工業表敬訪問（大田原市）
- 7日 新春交歓会（会津若松市）
- 8日 東北地方整備局長と全会津首長懇談会（会津若松市）
- 10日 只見町議会3月会議（～19日）
- 11日 「3.11ふくしま復興の誓い2015in南会津」（南会津町）
- 13日 只見中学校卒業式
- 14日 奥会津シンポジウム（昭和村）
- 22日 奥会津・只見線全線復旧応援事業（会津若松市）
- 23日 町内小学校卒業式、内外情勢調査会福島支部懇談会（福島市）
- 24日 南郷トマト生産組合日本農業大賞受賞祝賀会（南会津町）
- 25日 雪まつりミニ雪像コンテスト表彰式、臨時庁議、南会津会評議員会・理事会、只見高校送別会
- 26日 会津ただみ振興公社取締役会
- 27日 JR東日本仙台支社要望活動（仙台市）
- 29日 只見婦人会定期総会
- 30日 土地改良区理事会・総会
- 31日 町退職職員辞令交付・離任式、南会津会退職辞令交付式

「診療体制の充実」

雪が多かったせいか、今日はどのくらい消えたかと雪の消えゆく様子を楽しみに背戸を眺める毎日です。少しでも土が覗けばふきのとうが膨らみ、福寿草が開き、スイセンがたちまち伸びます。毎年のごとは言え本当に凄い方だと思います。

春3月、子ども達が卒業し巣立っていきました。今年は只見高校から東北大学への合格者が出ましたがこれは初の快挙とのことで、合格した生徒は毎日毎日の日課をしっかりと押さえ消化すること、そのための時間の使い方が上手だと聞きました。当たり前のことですが、難しいことです。高みを目指して挑戦しそれが実現したことで只見高校からの挑戦の気風がなお一層高まることに繋がってくれればと思います。

朝日診療所は、4月から新任の医師と看護師を迎え常勤医師4人体制でのスタートとなりました。昨年度は、県立南会津病院などから応援医師を派遣して頂き、診療所を助けて頂きましたが本当に有難いことでした。また4月からは胃カメラ検査の再開、さらにはCT装置も更新される予定で、より精度の高い検査ができるようになりました。健康維持は日常生活の中で自ら注意するものですが、何かあったらまず診療所の利用をお願いします。若い先生たちですが町民の医師として意欲十分で、頼り頼られることが診療所の充実、向上に繋がっていくものと考えます。

長い冬から解放されていよいよ活動的な季節。健康第一でお過ごしください。

只見町長 目黒 吉久



▲4月1日辞令交付式でサービスの宣誓をする新規採用職員

町職員の退職・新規採用

●退職職員（3月31日付）

- ▽矢沢 明伸（会計室長）
- ▽山内 啓資（議会事務局長）
- ▽二階堂一広（農林振興課長）

●新規採用職員（4月1日付）

- ▽渡辺 浩（農林振興課林政係）
- ▽渡部 誉（環境整備課生活環境係）
- ▽渡部はるか（総合政策課地域振興係）
- ▽赤塚 美香（朝日診療所）

町民の消息

(3月1日～3月31日届出分)敬称略

■お誕生おめでとございます

山内 咲輝 (女/孝弘・嶺花) 小林

■ご結婚おめでとございます

小川 村上 祐治 ♥ 上野 淳子 小川

■おくやみ申し上げます

| | | |
|--------|------|------|
| 星 正人 | 87歳 | 荒島 |
| 目黒 廣 | 87歳 | 小川 |
| 佐藤 コイク | 88歳 | 入叶津 |
| 星 博一 | 96歳 | 二軒在家 |
| 山内 コオ | 88歳 | 小林 |
| 馬場 藤一郎 | 83歳 | 塩ノ岐 |
| 亘 正純 | 101歳 | 塩沢 |

人のうごき

平成27年3月1日現在

人口 4,522 (-9)
 男 2,191 (-3)
 女 2,331 (-6)
 世帯数 1,790 (-2)
 高齢化率 43.7%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 4 出生 2 死亡 9

▽今年度で広報担当3年目となりました。
 ▽4月は「冬が終わった」という開放感から今年やってみたい事などを色々考えます。とりあえず、今広報の仕事としてやってみたいと考えている事は、豪雨災害により登山禁止となっていた会津朝日岳に今年から登れるようになる予定なので、朝日岳の写真を広報ただみで皆さんに紹介できればと考えています。体力的な心配はあまりありませんが、一眼レフカメラを持って登山中に転んで壊したり、濡らしたりしないかが心配です。
 (吉津)

あとがき

生涯学習推進員
大東 由佳

朝日振興センター
図書室 ☎84-2059

おすすめ新着図書

★島へ免許を取りに行く



星野 博美 / 著
(集英社)

写真家・エッセイ・紀行文作家である著者が、40代に車の免許を取ろうと思い立ち、五島列島の教習所へ通うことにします。愛猫をなくし、人間関係に行き詰まり、新しいことに挑戦したくなったからでした。色々な発見や出会いなど、島での日常を軽快に綴っています。旅先での出会いを書いてきた著者らしく、活き活きした人々の印象が残る一冊です。

★忙しいママでもラクラク作れる子どもが喜ぶお弁当



阪下 千恵 / 著
(辰巳出版)

これさえあれば、子どものお弁当はバッチリ！と言うほど役に立つ一冊です。

お弁当の詰め方や、すきまの埋め方、飾り付けも参考になるものばかり。キャラ弁ほど難しくなく作れ、細かいレシピも掲載されているので、忙しいママさんにもピッタリです。

★朝日振興センターでは、リクエストを随時受付しています。読んでみたい!という本があればぜひ、リクエストしてください。

町民章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

キクザキイチゲ (学名: *Anemone pseudo-altaica*)

[キンポウゲ科 イチリンソウ属]



<開花中のキクザキイチゲ>



<日陰になり花を閉じたキクザキイチゲ>

※2



キクザキイチゲ (別名: キクザキイチリンソウ) は、“スプリング・エフェメラル※1”と呼ばれる春植物の一つで、只見の春を代表する花の一つです。

4月下旬～5月に山地の落葉樹林内や日当たりのよい斜面、林縁などで雪解けが始まると、他の植物が葉を開く前に我先にと花を咲かせます。只見町では“コデ”や“コデノハナ”などと呼ばれ、町内のいたるところで、風に揺れる可憐な花を見ることができます。“コデ”の意味を調べてみたのですが、80歳を過ぎたおばあちゃんに聞いても「昔からコデノハナと呼ばれていてそう教わったから意味までは解らない」ということでした。もしご存知の方がいたらぜひ“コデ”の意味を教えてください

たいものです!

キクザキイチゲは、北海道から本州 (近畿地方以北) に分布するキンポウゲ科の多年草です。高さは10～20cmほどで、茎には深く切れ込みの入った3出複葉※2が3個輪生します。

茎頂には、直径3cm程の花を1個咲かせます。花の色は、白色～淡紫青色と変化があり、濃い紫色や薄桃色のなども見られます。太平洋側では、白い花しか見られませんが、日本海側では様々な色の花が見られ、只見でも白い花と紫の花が並んでいるのを見ることができます。また、キクザキイチゲは日中、陽の光を受けると花が開き、日陰や夜間光が当たらなくなると花を閉じます。

※1 エフェメラル: 短命なもの儂いものという意味。花が終わり、種子を作ると地上部の葉は枯れて無くなり、翌春まで見ることが出来ないところからきています。5月の連休の観察会は、キクザキイチゲをはじめ、様々なスプリング・エフェメラルを観察します。一緒に花を見に行きませんか?

※2 3出複葉: 3個の小葉からなる複葉(葉身が全裂しており、2個以上の部分に分かれている葉)

企画展示

「季節とともに生きる
只見の野鳥とその生態」

期 間: 6月7日(日)まで開催中!

自然観察会

「春植物を愛でる！」

5月2日(日) 場所: 黒谷川流域

「春のブナ林を歩く！」

5月3日(月) 場所: 布沢地区 癒しの森

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください